

自分の考えを主体的に表現し、共に学び合う子の育成

豊岡市立福住小学校 校長 谷 茂実
教諭 松岡 勝美

1 はじめに

本校は、23・24年度の2年間のNIE実践校の認定を受け、さらに25年度は奨励校の枠をいただいた。本校の研修テーマである「自分の考えを主体的に表現し、共に学び合う子の育成」に向けて、言葉の力を育てるために全校で新聞を取り入れた活動を進めてきた。

推進目標

- ①新聞に慣れ親しむ。
- ②社会とのつながりを広げる。
- ③友だち・家族と感想を共有し、学び合う楽しさを知る。
- ④情報を整理し読み取る力をつけ、語彙力や表現力を伸ばす。



各紙ごとに分け、ロッカーの上に新しい新聞を置く



新聞を整頓している児童

学年の目標

	読む	話す・聞く	書く
低学年	楽しみながら、好きな写真や習った文字などを見つける	見つけたことや考えたことを進んで話したり聞いたりする	見つけたことや感じたことを進んで書く
中学年	写真や見出しから気になる記事を見つけ、大まかな内容をとらえる	記事の内容と自分の考えを、話したり聞いたりする	5W1Hを使って記事を要約する
高学年	新聞記事の内容を把握し、自分の考えを広げたり深めたりする	新聞記事から得た情報などが明確に伝わるように話す。話し手の意図を考えて聞く	5W1Hを使って記事を要約し、自分が感じたことを適切に書く

毎朝配達される新聞を新聞受けから、多目的ルームに運び、所定の場所に並べることを全校生で行っている。1、2年生の新聞系の児童が多目的ルームに運ぶ。3～6年生の整頓系の児童が、新しい新聞をロッカーの上に、その週の新聞はロッカーの1段目に、当月の新聞は2段目に、その他の新聞は3段目に分けて入れている。そばのロッカーには国語・漢字辞典を入れて、分からないことばの意味や漢字の読み方などが調べられるようにした。

2 取り組み

(1) 新聞タイム・福住めぐる君

毎週水曜日（8：25～8：35）の10分間の学習タイムを利用して、全校生が新聞を読む「新聞タイム」を設定している。

文字を読んだり書いたりできない1年生は、新聞から好きな写真や絵、広告などを選び切り抜く。文字が書けるようになった2学期以降は、教師が記事を読み、聞いて思ったことを書く。2年生は、各自が家から持参した記事についての感想や選んだ理由を書いた。時には教師が選んだ記事についての感想を書き交流した。3年生以上は、複数の記事の中から興味のある記事を選び、5W1Hを使って要約し感想を書いている。

毎月第4水曜日には、6年生がグループに分かれ、自分たちが選んだ新聞記事を他学年に紹介する「福住めぐる君」を実施した。6年生はそれぞれの学年に合った記事を選び、その学年に分かりやすいように工夫しながら記事の要約文を書き、記事の紹介をした。1～5年生は、紹介してもらった記事について質問したり感想を言ったりして交流しあった。



新聞タイムで取り組んだプリントは、踊り場に掲示した



新聞タイムに
取り組む児童



きょう「めぐるくん」で、どしゃくずれのニュースをききました。たかさ40メートルで5人もまきこまれるなんておもわなかったです。ぼくも、そんなだれがなかったらいいな、とおもいました。しぜんてこわいな、とおもいました。 （1年 男児）

学年にあわせて、記事を選んだり、分かりやすく言ったりするのが大変でした。でも、たくさん発表してくれたりすると記事の内容が分かってもらえたようでホッとしました。 （6年 女児）

(2) ニュースズームイン

毎月21日を21=NIE（ニイ）の日とし、その週の水曜日の新聞タイムに「ニュースズームイン」に取り組んだ。最近の新聞から自分が興味・関心のある記事を選び、プリントの左側に貼る。5W1Hを使って、記事の内容を要約する。作業の早い児童は、10分の新聞タイムでそこまでできる。

そのプリントは持ち帰り、記事の内容についてお家の人に伝えて、コメントを聞き、書いてくる。最後に、自分の感想を書く。早い児童は、翌日の木曜日に提出すること

ができる。最終締め切りを翌週の月曜日とし、毎月取り組んでいる。その月の最優秀賞の児童は1階事務室前の掲示板に貼りだし、優秀賞の児童数人の作品は、踊り場の学年掲示板に掲示している。

(3) N I Eを使った学習

学年	教科 ・ 単元名
1年	国語「おはなし見つけた」 生活「きせつだより」 学活「4こま漫画」
2年	国語「カタカナあつめ」 生活「町たんけん新聞づくり」
3年	国語「かるた」・・・各段落ごとに小見出しつけに挑戦！ 総合「記者派遣事業」
4年	国語「文の要約」 算数「面積」「がい数とその計算」 総合「記者派遣事業」 図工「头像づくり」「クリスマスリースづくり」
5年	国語「新聞を読もう」 総合「肢体不自由な方とのかかわり方を学ぼう」(新聞記事を紹介)
6年	国語「学級討論会をしよう」 国語「熟語の成り立ち」

(4) 但馬のニュース

自分たちのふるさとの新聞記事を見つけ、記事の内容を要約したり、感想を伝えたりする力の育成をねらいとして取り組んでいる。方法としては、但馬欄から興味のある記事を見つけてその記事を切り抜き、5W1Hを使って記事の内容をまとめ、その

記事についての感想を書く。そして、但馬の白地図が貼ってある模造紙に貼り1階の廊下に掲示した。模造紙には、児童が見つけた記事がどの場所の出来事かわかるように記事と場所を矢印で結んだ。本年度は、掲示委員会の取り組みとして行った。



(5) 新聞記者派遣

朝日新聞豊岡支局の新井正之支局長から、「新聞ができるまで」「地方紙と全国紙の違い」「記者が取材をする時に気をつけていること」「記者の持ち物」などを分かりやすく説明していただいた。



特に、新聞ができるまでの過程で、記事に見出しをつける作業では、記事を書いた記者とは別の人が、記事を読み、そこに使われている言葉を使って見出しを考えているという話が、子どもたちには印象に残っている様子であった。また、新井支局長が書いた、永楽館歌舞伎の記事の見出しを隠し、その見出しを考える活動にも意欲的に取り組んでいた。今回の、記者派遣事業を生かして、学習のまとめの新聞を作る際には、記事の内容だけでなく記事の見出しにも工夫をする姿が見られるようになった。

(6) ぼく、わたしのたからもの

自己表現力を高めるため、テーマを設定し、限られた字数の中で自分の思いを表現する取り組みを行っている。今年度は、1～5年は、「ぼく、わたしのたからもの」、6年は「ぼく、わたしの将来の夢」をカードに書き、絵や写真とともに紹介した。カードから、一人一人の生き生きとした思いが伝わり、豊かな言語表現を学び合うことができた。

1年生

わたしのたからものは、小さな犬のぬいぐるみです。かおがちよっと大きくてからだは小さい。かわいくていっしょにねてるんだよ。

3年生

わたしのたから物は、名前です。親からもらった最初のプレゼントだからです。きれいで美しいという意味があるそうです。きれいな心でみんなにやさしくできる人になりたいです。

6年生

私の将来の夢は、管理栄養士になることです。社食や学校給食の献立を考えて、健康な体で元気に暮らしてもらえるように頑張ります。だから、今から食材の栄養についてしっかり勉強したいです。

3 おわりに

(1) 成果

- ・新聞が身近になり、親しむことができた。
- ・知らない言葉を知ったり、習っていない漢字が読めたりできるようになった。
- ・ニュースズームインの取り組みで親子の会話が持て、親の考えや思いを感じることもできる児童が増えた。
- ・短時間で要約できるようになった。
- ・新聞を紹介する学年によって記事を選んだり、話し方を工夫したりするなど、相手意識を持って活動できるようになった。
- ・但馬の記事を選んでいる子どもも多く、自分たちの故郷へ関心を持つことができた。

(2) これからの課題

- ・新聞には子どもたちにとって難しい内容や漢字があり、家庭との連携が大切である。家庭の協力には差があるので、配慮していかなければならないと感じた。
- ・新聞タイムの時間枠（10分）では、作業を終えることが難しく、1校時にかかってしまうこともあった。水曜日の1校時を国語にする等の工夫が必要である。
- ・「福住めぐる君」で、子どもたちは6年生から様々な記事を読むことができたが、写真や記事は小さく見にくかった。もっと大きく見せる工夫をすれば、さらに、質問や感想などが増え、活発な活動が期待できると思う。